

2026年9月 11 日

報道関係各位

公立大学法人北九州市立大学
日本コンピューター株式会社

北九州市立大学と日本コンピューター株式会社が 産学連携協定を締結

ー産学共同で実践的教育を進め、ビジネス課題解決能力の育成とデジタル人材の創出ー

公立大学法人北九州市立大学(学長:柳井 雅人、以下「北九州市立大学」)と日本コンピューター株式会社(代表取締役社長:中山 秀喜、以下「日本コンピューター」)は、教育研究において連携し、地域社会の人材育成と経済発展に貢献することを目的とした産学連携協定を締結しました。

特に、北九州市立大学が2027年4月に開設を予定している新学部「情報イノベーション学部」において、協働で教育を行い、情報工学の先端技術を駆使する高度人材、GX 推進や地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材の創出を目指します。



公立大学法人
北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU



【連携協定に基づき今後推進する取組】

北九州市立大学は、デジタル人材需要の高まりを受け、2027年4月に「情報イノベーション学部」を新設します。この新学部では、実社会が求める即戦力人材を養成するため、市内企業と連携し、実際のビジネスにおける課題解決能力を身につけるべく、より実践的な教育を展開します。

日本コンピューターは、保健・福祉・子育て分野向けのITソリューションを提供するIT企業です。長年培った技術力と豊富な実績を強みに、社会課題の解決と利用者目線のサービス創出を通じて、安心で豊かな社会の実現に貢献しています。

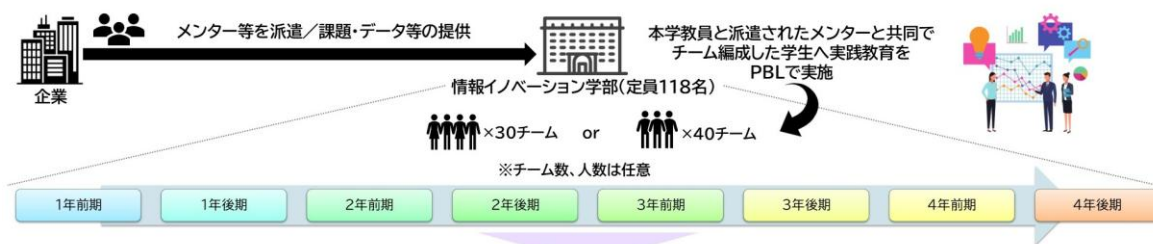
今回の連携協定においては、日本コンピューターがこれまで培ってきた課題解決ノウハウを活用し、新学部において課題解決型学習(PBL:Project Based Learning)を支援する講師・メンターの派遣や地域社会への貢献活動等を実施することで、地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材の創出と地域の経済発展に貢献します。

【協定締結日】

2026年9月10日(木)

【産学共同で PBL のイメージ】

- 本学教員と派遣された企業のメンターが協働でファシリテートを行い、学生が自己主導型で問題や問い、仮説などの立て方、問題解決に関する思考力や協働学修等の能力や態度を身に付けることを目的とするPBL(Project-Based-Learning)を実施
- 学生はテーマに応じてチームを編成し、チームで協力しながら、エビデンスに基づき提供された課題の解決策を発案。**学生各人が自分事として捉えた主体的な学修活動を4年間一貫貫で実施**



情報工学の先端技術を駆使する高度人材・GX推進や地域社会の課題解決に寄与するデジタル人材を輩出

<本件に関するお問い合わせ先>

北九州市立大学 新学部設置準備課 木下、小山

TEL:093-964-4035

E-mail:shingakubu@kitakyu-u.ac.jp

<大学広報全体に関するお問い合わせ先>

北九州市立大学 企画戦略課広報係 石井、中原

TEL:093-964-4196

※本リリースに掲載する社名等は、各社の商標または登録商標です。